

【対象年齢】 3～5 歳児

【確認事項】 磁石、ゼムクリップは乳児クラスでの使用は禁止（使用後は必ず床などに落ちていないか確認）

準備する物

| | |
|---------------|--------------------------|
| ・プロジェクター、ipad | 動画を映し出す環境を整える |
| ・磁石 | 一人1個 ※先生用1個あり |
| ・ゼムクリップ | 一人につき、大体30個ずつ |
| ・お皿 | クリップを入れる皿（パレット学習タイム用使用可） |

活動①

ねらい

磁石のくっつく性質を知る（磁石との出会い）

活動内容

★動画「くっつく性質」をみんなで視聴。

・動画内に出てくるクイズでは、子どもたちと一緒に考える。（予測）
 <問題>磁石にくっつくものはどれか？

①折り紙 ②アルミ缶 ③クリップ **答え：③クリップ**

※アルミ缶はくっつかないけれど、スチール缶はくっつくなど補足を入れる。

・実験をする合言葉「じっけん！」を子どもたちと一緒に言う。

・動画視聴後、「キツネ博士から磁石が届いていたよ」等、届いたことを子どもたちに伝える。※事前に封筒に磁石を入れて準備しておく。

・みんなで、お部屋の中にあるくっつくものを探してみる。

先生方は、事前にくっつくものを探しておく活動がしやすい◎

※くっつけてはいけないものをあらかじめ子どもたちに伝える。
 アナログ時計、ブラウン管テレビ、クレジットカードや交通系 IC カード類等

・みんなが見つけたくっつくもの、くっつかなかったものなど一緒に実験をして終了。

使う物

- ・プロジェクター、ipad
- ・プレゼント封筒
- ・磁石

※事前にくっつくものを準備しておくのもよい。
 例) はさみ・カイロ机や椅子の鉄の部分・くぎ等

活動②

ねらい

くっつく性質を使ったあそびを楽しむ。

活動内容

★動画「おもしろチャレンジ！」（磁石②）を視聴。

<遊びの紹介>

①「くっつけクリップ！チャンスは1かい」

*クリップの入ったお皿に、磁石を1回のみ入れて、いくつつくのかチャレンジ。磁石を入れる時に動画と同じく掛け声を入れる。

②「いくつつくかな？クリップつなぎ★」

*クリップを磁石に長く付けられるのかチャレンジ。さまざまな方向にくっつく楽しさも一緒に感じる。

・動画視聴後、「みんなでチャレンジしてみよう！」等、子どもたちの意欲を促す。

・クリップの入ったお皿、磁石を配ってチャレンジを楽しむ。

・誰が一番くっついたのか発表等して終了。

使う物

- ・プロジェクター、ipad
- ・ゼムクリップ
- ・お皿
- ・磁石